

(非公式訳)

投資委員会布告

第 4/2559 号

件名：ノンカイ県特別経済開発区の対象業種の改定増補

仏暦 2557 年 (2014 年) 12 月 3 日付投資委員会布告第 2/2557 号、件名：投資奨励政策および基準、仏暦 2557 年(2014 年)12 月 18 日付投資委員会布告第 4/2557 号、件名：特別経済開発区における投資奨励政策、および仏暦 2558 年(2015 年)12 月 15 日付投資委員会布告第 16/2558 号、件名：ノンカイ県特別経済開発区における投資奨励政策に引き続き、

仏暦 2520 年 (1977 年) 投資奨励法第 16 条、第 18 条および第 35 条の権限に基づき、投資委員会は投資奨励対象業種および条件を以下の通り発布する。

第1項 ノンカイ県特別経済開発区の奨励対象業種を以下の通り追加する。

1 類 農業および農産品

| 業種 | 条件 |
|--------------------------------|---|
| 1.5.1 家畜または水棲動物の繁殖 | 最新技術を使用すること。例えば、密閉型育舎の使用、育舎内を常時適切な空気環境に保つための換気システムの設置、自動給水給餌システムの設置、感染症媒介生物の飼育場への侵入防止システムの設置、頭数カウントセンサーシステムの設置など。 |
| 1.5.2 家畜または水棲動物 (エビを除く) の養殖 | 最新技術を使用すること。例えば、密閉型育舎の使用、育舎内を常時適切な空気環境を保つための換気システムの設置、自動給水給餌システムの設置、感染症媒介生物の飼育場への侵入防止システムの設置、頭数カウントセンサーシステム、および環境への影響を予防・軽減する効率的なシステムの設置など。 |
| 1.6 屠殺 | 最新製造技術を使用すること。例えば、動物の |

| 業種 | 条件 |
|--|---|
| | 気絶処理、動物を掛ける吊り具、冷蔵室、冷却システム、肉質検査、異物検査など。 |
| 1.8 植物、野菜、果物、花の品質選別、包装、保存 | 先端技術を使用すること。例：色彩選別機の使用、蒸熱による果実蠅の卵の殺滅処理、コーティングなど。 |
| 1.9 加工澱粉 (Modified Starch) または特殊な植物からの製粉 | |
| 1.10 植物または動物からの油脂の製造(大豆からの油を除く) | 1. 植物からの原油または半精製油の製造は、農産物を原材料にすること。 2. 植物からの精製油は、農産物または原油を原材料にすること。 |
| 1.11 天然エキスの製造または天然エキスからの製品の製造 (薬品、石鹼、シャンプー、歯磨き粉、化粧品を除く) | |
| 1.14.1 基礎ゴム加工 | |
| 1.17 最新技術を使用した食品の製造・保存、飲料、食品添加物 (Food Additives)、または食品調合物 (Food Ingredients) の製造(アルコール飲料を除く) | 1. 混合や希釈工程のみのプロジェクトは奨励しない。 2. 発酵工程があるプロジェクトは、研究で立証された種菌を使用すること。 |
| 1.19 冷蔵・冷凍倉庫、または冷蔵・冷凍倉庫および冷蔵・冷凍運輸 | |
| 1.20 農産物取引センター | 1. 土地面積は 50 ライ以上であること。 2. 全面積の 60%以上が農産品に関する業務あるいはサービスであり、中に農産品の展示場あるいは取引場、競売センター、冷凍庫、倉庫を有すること。 3. 品質検査・選別、残留物質検査サービスを提供すること。 |

3 類 軽工業

| 業種 | 条件 |
|--|------------------------------------|
| 3.1.1 天然繊維または人工繊維の製造 | リサイクル繊維の製造について国内の残り屑・廃棄物のみを使用すること。 |
| 3.1.2 糸または布の製造 | |
| 3.1.4 衣類、衣類部品、および家庭用繊維製品の製造 | |
| 3.2 不織布の製造または不織布から衛生製品 (Hygienic Products) の製造 | |
| 3.3 靴もしくは履物製品の製造、または皮革もしくは人工皮革からの製品の製造 | |
| 3.4 スポーツ用品あるいはその部品の製造 | |

7 類 サービス、公共事業

| 業種 | 条件 |
|--|--|
| 7.1.3 コンテナ方式による輸出品の検査およびコンテナ積載のための施設、または、埠頭外での輸入品の検査およびコンテナ方式による輸出品の積載保管場所 (Inland Container Depot: ICD) | |
| 7.4.1 物流センター (Distribution Center: DC) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 払込登録資本金が 1,000 万バーツ以上であること。 2. 最新のコンピュータシステムにより制御される物品貯蔵施設を備えること。 |
| 7.4.2 国際物流センター (International Distribution Center: IDC) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 払込登録資本金が 1,000 万バーツ以上であること。 2. 最新のコンピュータシステムにより制御される物品貯蔵施設を備えること。 3. 以下の通り、追加の条件を定める。 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 投資金額 (土地代と運転資金を除く) が 1 億バーツ以上であること。 3.2 1 カ国以上に対し物流を行うこと。 |

| 業種 | 条件 |
|--------------------|--|
| 7.9.1.1 工業団地または工業区 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 土地面積が 500 ライ以上あること。 2. 工場用地は、総面積の 60%以上で 75%を超えてはならない。ただし、1,000 ライ以上の場合、投資委員会の同意に従うものとする。 3. その他の条件は以下の通りとする。 <ol style="list-style-type: none"> 3.1 基幹道路の規格 <ul style="list-style-type: none"> - 総面積が 1,000 ライ以上の場合には 4 車線あり、道幅が最低 30 メートルで、路面幅が最低 14 メートルであり、交通島があり、両側にそれぞれ 2 メートル以上の歩道があり、緊急駐車のために十分な路肩があること。 - 総面積が 500 を超え、1,000 ライまでの場合は 2 車線あり、道幅が最低 20 メートルで、路面幅が最低 7 メートルであり、両側にそれぞれ 2 メートル以上の歩道があり、緊急駐車のために十分な路肩があること。 3.2 補助道路は路面幅が最低 8.5 メートルで、両側にそれぞれ 2 メートル以上の路肩があること。 3.3 廃水処理設備は廃水の性質に合ったもので、処理後の排水池があり、法定の排水基準に準ずるシステムであること。 3.4 廃水用の排水システムは雨水用の排水管と完全に分けること。 3.5 委員会の同意した方式に基づきゴミ集積、整理、処理の方法を有すること。 3.6 入居する工場は、天然資源・環境政策および計画事務局の専門家委員会が同意した環境影響評価報告書が指定する対象産業および禁止業種に沿ったものであること。 3.7 入居する工場に対し、十分に使用できる電力、水道、電話、郵便などの公共施設を有すること。 |

| 業種 | 条件 |
|---|--|
| | <p>3.8 奨励証書発給日より2年以内に土地の総面積の約25%以上、もしくは委員会が同意した面積を整備し、公共サービスを提供できるようにすること。</p> |
| <p>7.9.1.2 宝石・宝飾産業工業団地 または工業区</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 土地面積が100ライ以上であること。 2. 総面積の40%以上を宝石および宝飾産業関連事業にあてること。 3. 宝石または宝飾の取引の場所を設けること。 4. 十分な保安システムを設けること。 5. 会議室、展示場およびビジネスセンターを有すること。 |
| <p>7.9.1.3 ロジスティクス・パーク (Logistics Park)</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 土地総面積が200ライ以上あり、延べ面積50,000平方メートル以上の販売または賃貸用の倉庫の建設に投資すること。 2. 港湾、空港、国境税関所、通関および陸上コンテナデポ (Inland Container Depot:ICD) より半径50キロ以内またはフリーゾーン (Free Zone) 内のいずれかに立地すること。 3. 一部または全ての面積をフリーゾーン (Free Zone) とすること。 4. コンテナ・ヤードまたはトラックターミナルがあり、または50以上のコンテナを保管、預かるデポを有すること。 5. ロジスティック・パークと国内・国際通信センターとの間に高速通信システムがあること。 6. 登録資本金の51%以上をタイ国籍者が保有すること。 7. 関係政府機関の同意を得ること。 |
| <p>7.22.1 フェリーあるいは遊覧船サービス、または遊覧船のレンタル</p> | <p>関係政府機関の同意を得ること。</p> |
| <p>7.22.2 遊覧船の乗船所サービス</p> | <p>船の引き上げ設備、陸上の集積場、修理場など様々な設備を有すること。</p> |
| <p>7.22.3 遊園地</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 投資金額 (土地代および運転資金を除く) が5億バーツ以上であること。 2. プロジェクトの構成について、委員会の同意を得ること。 |

| 業種 | 条件 |
|-----------------------------|---|
| 7. 22. 4 芸術文化センターまたは美術工芸展示場 | 投資金額（土地代および運転資金を除く）が 3,000 万バーツ以上であること。 |
| 7. 22. 5 野外動物園 | 1. 投資金額（土地代および運転資金を除く）が 5 億バーツ以上で、土地面積が 500 ライ以上であること。 2. プロジェクトの構成について、委員会の同意を得ること。 3. グリーン・エリアと駐車場はそれぞれ全面積の 15%以上とすること。 |
| 7. 22. 6 水族館 | 1. 投資金額（土地代および運転資金を除く）が 1 億バーツ以上であること。 2. 奨励証書発給日から 12 ヶ月以内に環境影響予防・改善措置を作成すること。 |
| 7. 23. 3 国際展示場 | 1. 室内展示場が 25,000 平方メートル以上あること。 2. 全展示場に商談室を設けること。 |
| 7. 23. 4 リハビリテーション・センター | 1. 治療や健康リハビリテーションのための医療技術を使用すること。 2. 継続型リハビリテーションプログラムがあり、利用者用の宿泊施設を有すること。 |

第2項 恩典は仏暦 2557 年(2014 年)12 月 18 日付投資委員会布告第 4/2557 号、件名：特別経済開発区における投資奨励政策」に基づき付与する。

第3項 仏暦 2560 年（2017 年）12 月 30 日までに奨励申請書を提出すること。

仏暦 2558 年（2015 年）11 月 16 日より有効とする。

発布日： 仏暦 2559 年（2016 年）1 月 10 日

陸軍大将

(プラユット・チャンオーチャー)
投資委員会委員長